

分別収集の拡大から半年が経過

着実な循環型社会の形成へ

ごみについてのお問い合わせは、市役所市民環境課環境衛生担当まで

TEL (23) 6111 番
内線 2127・2128

根室市では、平成22年度から「廃棄物の排出抑制」と「リサイクル率の向上」を目指し、さまざまな取り組みを進めています。

特に、昨年10月からスタートした「分別収集の拡大」では、皆様のご理解とご協力によりわずか半年の取り組みで、循環型社会の形成の指標となるリサイクル率が、平成20年度の9.9%から平成22年度には17.1%に向上するとともに、家庭から排出される「燃やせないごみ」についても、前年半年間と比較すると、平成21年度の1,388 tから153 t（1,235 t減少）と約1割になるなどの成果が出ています。

この成果によりごみ埋立処理場の延命化が、当初目標としていた平成28年度を大幅に上回り、平成40年度まで既存の施設を使用できる試算となりました。

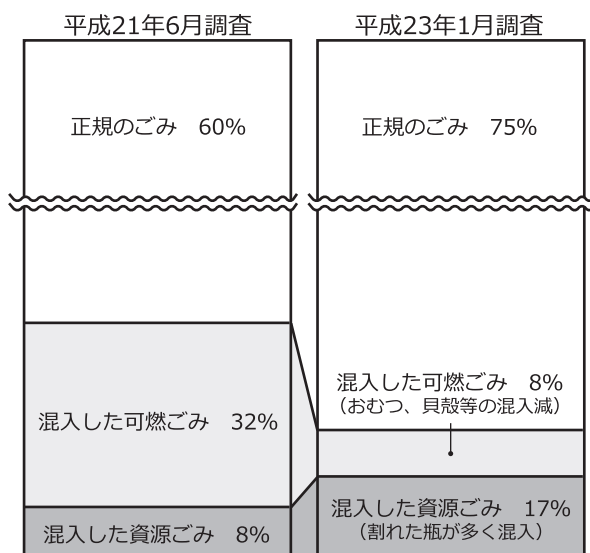
また、分別収集の拡大により、プラスチック製容器包装が資源ごみとして分別されたことで、ごみ埋立処理場でのごみの飛散や周辺農家の家畜被害が著しく減少するとともに、分別の強化による生ごみの混入が減少したため、悪臭も軽減されるなど周辺環境や就労環境も改善されています。

■混ぜればごみ、分ければ資源

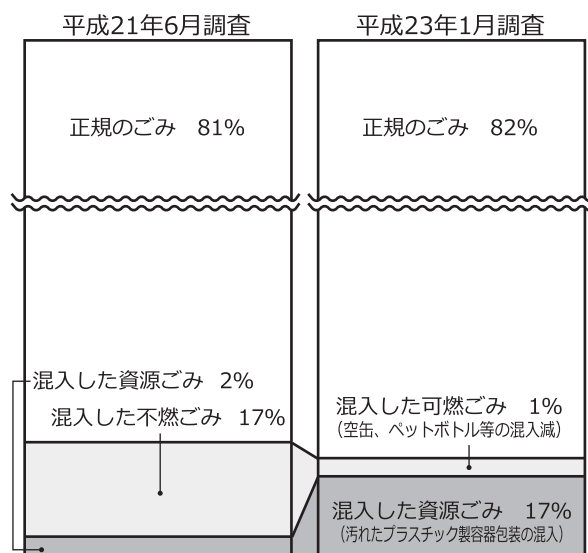
こうした成果が上がる一方、現在も完全な分別が行われているわけではありません。平成23年1月に、不燃・可燃ごみの中から各50袋を抽出し、どのようなごみが入っているかを調べる組成調査を行った結果、不燃・可燃ごみの中には、ともに17%の資源ごみが混入していました。資源率の向上のためには、この混入している資源の分別が課題となっています。

また、資源ごみの中には、食べかす・汚れ・匂いが付着しているものが混入しています。汚れたごみは、結果的に資源にならず焼却処分されるばかりか、これから気温の上昇する季節を迎え、悪臭の原因にもなります。資源ごみは必ず洗浄して出すようにしましょう。

不燃ごみの組成調査



可燃ごみの組成調査



7月からの収集日変更の確認を

地域により差があった収集回数の統一化や「燃やせないごみ」の月1回の収集、収集日が祝日に重なった場合など、ごみ収集の一部変更が7月1日から実施されます。広報ねむる5月号の折り込みと6月に配布されるポスターなどの確認をお願いします。